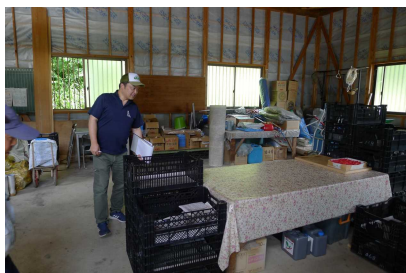


普及活動情勢報告（令和6年8月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

より良い農業の実践に向けて ～津野山地域一斉環境点検を実施～



普及指導員らが環境点検を行った出荷調整場所

7月17日及び19日、農業改良普及課はJA、梶原町、津野町の職員と津野山地域の生産者57人のハウス内外や出荷調整場所等の一斉環境点検を実施しました。

点検の結果、一部に周辺の除草や資材等の整理が不十分な施設もありましたが、野生動物の侵入対策に改善がみられた施設もあり、生産者からは「人に見られても恥ずかしくないハウスにしたい」との改善に積極的な声が聞かれました。

農業改良普及課は今後も、一斉環境点検を繰り返し実施して、生産者の衛生管理意識を高めていきます。

出荷最盛期の管理を徹底しましょう！ ～米ナス現地検討会～



普及指導員が管理の徹底を指導

7月25日、JA高知県津野山園芸部なす部会が津野町のほ場で米ナス現地検討会を開催し、6戸10人が参加しました。

農業改良普及課は、出荷最盛期の管理（整枝・誘引）と病害虫対策について指導しました。

参加者からは整枝方法やかん水・追肥管理、病害虫対策について活発に意見が出され、管理方法についての理解が深まりました。

農業改良普及課は今後も、課題解決のための調査研究、適期の指導を通じて米ナスの栽培技術の向上を支援します。

株養成期の管理をしっかりやろう ～JA土佐くろしおニラ部会現地検討会～



温度管理等について説明する普及指導員

7月30日、JA土佐くろしおが、須崎市のほ場でニラ現地検討会を開催し、生産者7人が参加しました。

農業改良普及課は、気象と収穫量の推移について情報提供し、株養成期間の温度管理の重要性等を説明しました。

参加者からは、「ハウスを開放しても熱気がなかなか抜けずに困っている」、「良い遮光資材について知りたい」などの質問があり、JA職員も交えて解決に向けた情報交換ができました。

農業改良普及課は、今後もJAと連携し、ニラの収量・品質の向上の取組を支援します。

有機農業を推進するために ～須崎地域有機農業推進協議会実務担当者会～



制度等について説明する普及指導員

7月30日、須崎総合庁舎で、須崎地域有機農業推進協議会実務担当者会を開催し、関係機関職員6人が参加しました。

農業改良普及課から、有機JAS制度及び環境保全型農業直接支払交付金について説明をした後、管内の有機農業の推進方策としてユズ生産者への交付金の活用提案などについて意見交換を行い、農業者の取組意向等について共有できました。

会では今後、先進事例の勉強会などを計画しており、農業改良普及課は関係機関と共に有機農業の推進に取り組みます。

次園芸年度に向けて栽培管理技術を高めよう ～キュウリ勉強会～



データを活用した栽培管理について説明

8月16日、農業改良普及課はJA土佐くろしおと、JA本所会議室でキュウリ勉強会を開催し、生産者19人が出席しました。

農業改良普及課は、本園芸年度の気象とミナミキイロアザミウマの発生状況をグラフで振り返り、キュウリ黄化えそ病対策として天敵活用事例を含めたIPM防除を紹介しました。また、ハウス内環境の違いによる光合成速度の違いについて説明し、光合成の見える化等のSAWACHIの新たな取り組みについて紹介しました。

生産者は、配布資料やスライドの説明を熱心に聞き、理解を深めました。

農業改良普及課は今後も、促成キュウリの収量・品質向上に向けてデータを活用した栽培管理を支援していきます。